

県政だより

新時代

おおいた

Shinjidai Oita

No.148

2023 May & June

5-6月



さわやかな
青空の下、
職員の大きな
拍手で迎えられる
佐藤知事

特集1 力強く歩んでいく大分県へ
—佐藤県政スタート—

特集2 みんなで防ごう! 土砂災害

力強く歩んでいく大分県へ —佐藤県政スタート—



4月28日、佐藤樹一郎大分県知事が就任しました。

佐藤知事は、戦後の公選制による知事としては、細田徳寿、木下郁、立木勝、平松守彦、広瀬勝貞の各氏に続く6代目の知事です。

この日、佐藤知事は、県職員などの拍手の迎えを受けて初登庁し、臨時部長会議、知事就任式に臨みました。

佐藤知事は、「県民との対話はもちろん、国・市町村をはじめ、多様な団体と連携しながら、『安心元氣』『未来創造』『共生社会』の3つの視点で、元気で夢のある大分県づくりに取り組みたい。大分県は、広瀬前知事の5期20年の県政によって大きく発展した。しかしながら、まだまださまざまな可能性にあふれている。一人ひとりが県政推進の原動力であると考え、大分県がさらに発展し元気になるよう、ともに、力を尽くしていただきたい」と力強く語りました。

県民の皆さまとの対話を大事にし、より一層発展する大分県を目指して、佐藤県政がスタートしました。

プロフィール

昭和32年(1957年) 大分市生まれ

【略歴】

昭和51年 大分雄城台高校卒業
 昭和55年 東京大学卒業
 昭和55年 通商産業省(現 経済産業省)入省
 平成7年 在サンフランシスコ日本国総領事館領事
 平成18年 経済産業省中部経済産業局長
 平成21年 中小企業庁次長
 平成22年 独立行政法人日本貿易振興機構
 (JETRO)ニューヨーク事務所長
 平成27年 大分市長
 令和5年 大分県知事(1期目)

【趣味】 音楽鑑賞、自転車、読書

【特技】 少林寺拳法(2段)

に期待すること～



うさ児童館館長
久保絵里さん
(宇佐市)

子育て支援に長く関わってききましたが、支援は整ってきているのに、いまだにつらさを抱えているお母さんが多いと感じています。経済的な支援も大事ですが、気持ちの面での負担感を減らすため、USAパクラブなどの取組を行っています。

男性の育児休業など制度も充実してきていますが、お父さんが育児に参加するには、企業や社会の意識改革が必要です。中小企業で働くお父さんも制度を活用できるような社会を目指していただきたいです。



NPO法人リエラ
代表理事
松永謙矢さん
(日田市)

私どもの法人は、被災者支援、防災活動、移住定住の3つの事業に取り組んでいます。

大分県は自然豊かな一方で災害が多く、「まさか」から「またか」と声にする被災者も出てきているため、県民が安心して暮らすことができる防災政策が大事だと感じています。

自主防災組織のみならず、子どもたちや若年層、要配慮者など、多様な層へ防災啓発を行いつつ、誰一人取り残さない実効性のある取組を、県民と一体となって進めてほしいと思います。

わたしたちのふるさと大分県を「力強い推進力」で新たなステージへ

このたび、県民の皆さまのご信任をいただき、大分県知事として県政を担当することになりました。

県民の皆さまとの対話を重ねながら、県政の発展のために全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

課題はたくさんありますが、県政運営にあたっては、これまで大分市長として取り組んだ8年間の経験を生かすとともに、各地域、各分野の県民の皆さまのニーズや思いをしつかりと受け止め、国や県内18市町村と連携しながら、日々果敢に挑戦していききたいと思っています。

まず何よりも、**人口減少・少子高齢化対策**です。社会増対策では、令和4年度の移住者数が過去最高となるなど、これまでの取組で成果も出ています。引き続き、子どもを産み育てやすい環境づくり、高齢者の健康づくりに粘り強く取り組んでいきたいと思いま

す。また、誰もが安心して笑顔で元気に住み続けられるよう、障がいのある方などに寄り添うこと、女性がより活躍できる社会をどう作るかということも大事だと考えています。

大分県の元気づくりでは、ポストコロナに向けた動きが加速する中、インバウンドなどの観光振興が重要になってきます。来年春のデスティネーションキャンペーンは、5月から動きが本格化しています。また、ツール・ド・九州や豊かな海づくり大会、さらには大阪・関西万博なども見据えて、観光振興に取り組んでいきたいと考えています。また、中小企業の振興について、DXや先端技術の活用、農林水産業の成長産業化、あわせて、賃上げが中小企業にも広がっていくような取組も必要です。

大分県の安心元気や未来創造の基盤となる**広域交通網の構築**も重要です。子どもたちが住み続けたい、県外の人が訪れたいと思うよう、国との連携も強化しながら、中九州横断道路や中津日田道路をはじめ、東九州自動車道の4車線化の整備を、着実に進めます。東九州新幹線や豊予海峡ルートをどのように進めていくかも議論、検討していきます。

そして、**未来を見据えた取組**です。宇宙港のプロジェクトのほか、カーボンニュートラルにおいては、コンビニートが立地しているという大分県の強みを生かした水素エネルギーの普及なども進めていきたいと思えます。

いろいろと課題を申し上げましたが、現場に赴き、県民の皆さまとの対話を大事にしながら、一步一步、諸課題を乗り越えていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いします。

大分県知事 佐藤樹一郎

県民の声～佐藤知事



トラベルイン吉富
おかみ
井上真由子さん
(竹田市)

コロナ禍で観光スタイルも大きく変わりました。私たちは、これを変われるチャンスと捉えています。観光商品も団体から個人へと加速移行する中、コンセプトがしっかりとしていると集客できることが分かりました。

県の実施するツーリズム大学は尖った体験ツアー開発や県内の地域案内人と出会える素晴らしい事業です。ただ、単年度では限界があります。連携促進・活性化・定着化のため、複数年での支援も視野に入れていただきたいと思います。



大分県いちご販売
強化対策協議会会長
樋口勝典さん
(佐伯市)

目前に迫る物流の2024年問題や資材・燃料の高騰により、農業を取り巻く状況は非常に厳しいものがあります。その中で、消費者の方において品を届けるため、日々頑張っています。佐藤県政では、国とも連携を取りながら、各課題に迅速かつ柔軟に取り組んでもらいたいのです。

また、これからの時代、生産者が一丸となってオール大分で勝負していかなくてはならないと考えます。大分の農産物の一層のブランド化を進めていただけることを期待しています。

みんなであらう！土砂災害

大雨や台風などの自然災害からどう身を守るかは、私たちの生活にとって重要な課題となっています。今回は、皆さんに取り組んでほしい「日ごろからの備え」や「いざという時の行動」、あわせて大分県の取組を紹介します。

日ごろの備えと 早めの避難

土砂災害から命を守るために、住民が「自分の命は自分で守る」意識を持って自らの判断で避難行動をとり（自助）、地域コミュニティで助け合い（共助）、行政はそれを全力で支援する（公助）、住民主体の取組強化による防災意識の高い社会の構築に向けて、行政と住民が一体となつて取り組む必要があります。

自助 自分と家族の命を守る

自助とは、災害が発生したときに、まず自分自身や家族の身の安全を守ることです。近年、土砂災害の発生数は増加しており、一人一人が災害に備える必要性が高まっています。ハザードマップを活用して、事前に避難場所や避難経路を確認し、防災グッズを準備しておきましょう。



ハザードマップ点検



危険箇所の確認(まち歩き)

共助 地域で協力し命を守る

共助とは、災害が発生したときに、自分自身や家族の安全を確保したあと、近所や地域の人たちとお互いに助け合うことです。そのためには、日ごろからの挨拶や地域活動で、お互いの顔を見知っておくことが大切です。地域で行われる防災訓練などに参加してみましょう。

自助とは、災害が発生したときに、まず自分自身や家族の身の安全を守ることです。近年、土砂災害の発生数は増加しており、一人一人が災害に備える必要性が高まっています。ハザードマップを活用して、事前に避難場所や避難経路を確認し、防災グッズを準備しておきましょう。

公助 連携して命を守る

公助とは、消防、警察、自衛隊などの公的機関による救助・援助です。災害が発生したときには各機関が連携し、被災者の救助活動をはじめ避難所の運営や救援物資の輸送などにあたります。

また、県は、砂防えん堤や擁壁の設置など、土砂を受け止めて被害を防ぐ対策工事を行っています。こうした、県民の皆さんを災害から守るための事業も公助に含まれます。



タイムライン作成



避難訓練

土砂災害避難促進 アクションプログラム

自助

- 自分の命は自分で守る
- ・防災知識の習得
 - ・非常持ち出し品の準備
 - ・防災情報の収集

共助

- 地域コミュニティでの助け合い
- ・自主防災組織の強化
 - ・防災訓練の実施
 - ・要配慮者の支援

公助

- 行政による公的支援
- ・自助、共助への支援
 - ・避難所機能の充実
 - ・情報伝達機能の充実

【土砂災害避難促進アクションプログラム】

頻発化・激甚化する土砂災害から住民の命を守るために、行政と住民が一体となつて実効性のある避難行動を確保するための取組です。

大分県
土砂災害警戒
区域等情報は
こちらから



ホームページ



防災活動の普及に
取り組んでいる宮永さん
にお話を伺いました

NPO法人大分県砂防
ボランティア協会

みやなが

やすお

宮永 安雄さん

当協会は、会員が持つ経験や技術を生かして、県内各地域で各種の防災活動に取り組んでいます。県とともにやっている「土砂災害避難促進アクションプログラム」では、自治会を対象にした「地域の防災力を高める活動」として、公民館などの地域拠点に集まってハザードマップを確認し、一緒に避難経路を歩いて地域の危険箇所を点検します。さらに、自主防災組織などで『いつ』『誰が』『何を行うか』をみんなで考え、自治会独自の避難計画の作成を支援します。

また、小中高校の授業の一環として、砂防・防災教育にも力を入れています。砂防・防災の授業が楽しかったと笑顔で話してくれる子どもたちに、「いざという時に、自分で考え適切な行動ができる力」を身につけてほしいからです。

いつ起こるかわからない土砂災害から身を守るには、「事前にしっかり備える」「もしもの時、助かるための行動を自分で考えて実行する」ことが大切です。県民の皆さんの防災活動を、これからもお手伝いしていきます。



危険箇所
点検の様子

大分県の取組

砂防施設の整備

土砂災害から県民の皆さんの命を守るため、砂防施設を整備しています。



ふれあい砂防教室の開催

小学生を対象に、豪雨や台風、地震により発生した土砂災害（土石流・がけ崩れ・地すべり）で尊い人命と貴重な財産が失われている現状や、土砂災害を防ぐ砂防えん堤等の整備事業について、模型や映像、現地見学を通して学習を実施しています。



土砂災害警戒 標識の設置

令和4年度から、土砂災害警戒区域内にある電柱などに設置しています。この標識がある付近では、土砂災害の恐れがありますので警戒してください。



おおいた防災アプリの新機能

おおいた防災アプリは、「防災情報・お知らせの通知」「避難所・ハザードマップの表示」などに加え、「マイ・タイムライン機能」と「家族グループ機能」が追加され、ますます便利になりました。事前の備えにぜひご利用ください。

New マイ・タイムライン

大雨や台風の時に「いつ」「どこへ」避難するかを事前に入力しておく、災害時に通知されます。



登録1

避難行動

登録2

とるべき行動

登録3

非常時の持ち出し品

New 家族グループ

家族グループに登録された方全員で位置情報を共有し、避難状況の確認ができます。



現在地の共有

災害情報の共有

災害時に位置情報が共有されます。



ダウンロード
無料

【AppStore】



【GooglePlay】



警戒レベル

災害発生の危険度と、とるべき避難行動を、住民の皆さんが直感的に理解するための情報です。警戒レベル3（または4）が発令された際には、速やかに避難しましょう。



警戒レベル	避難情報等	
5	<p>災害発生又は切迫</p>	<p>きんきゅうあんぜんかくほ</p> <h2>緊急安全確保</h2> <p>※命の危険直ちに安全確保!</p>
<p>～〈警戒レベル4までに必ず避難!〉～</p>		
4	<p>災害のおそれ高い</p>	<p>ひなんしじ</p> <h2>避難指示</h2> <p>※危険な場所から全員避難</p>
3	<p>災害のおそれあり</p>	<p>こうれいしゃとうひなん</p> <h2>高齢者等避難</h2> <p>※避難に時間を要する方は早めの避難</p>
2	<p>気象状況悪化</p>	<h2>大雨・洪水・高潮注意報</h2> <p>※自らの避難行動を確認</p>
1	<p>今後気象状況悪化のおそれ</p>	<h2>早期注意情報</h2> <p>※災害への心構えを高める</p>

定期的に非常持ち出し品を確認してね!



非常持ち出し品 チェックリスト

ご自身やご家族に必要なものをすぐに持ち出せるよう準備しましょう。避難に支障が出る重さにならないよう注意しましょう。

重さの目安 男性15kg 女性10kg

食料品等

- 飲料水(500ml×1人3本)
- 非常食(乾パンなど)
- 栄養補給・調整食品
- 飴・チョコレート
- 粉ミルク・ほ乳びん
- 割り箸・スプーン・紙皿

貴重品

- 現金 預金通帳
- 印鑑 健康保険証
- 重要書類の番号を記したもの
- 家族等の連絡先・写真

衛生用品

- ウェットティッシュ・ポケットティッシュ
- 携帯トイレ 紙オムツ
- 腔ケア用品 生理用品
- マスク アルコール消毒液

身を守るもの

- ヘルメット ゴーグル
- 長袖・長ズボン レインコート
- 丈夫な手袋 笛
- 運動靴(底厚の履き慣れたもの)
- 靴の中敷(踏み抜き防止)
- 懐中電灯(ヘッドライト)

生活用品・情報機器

- ラジオ 予備電池
- 携帯電話(スマートフォン)
- 携帯電話の充電器
- 防災マップ 周辺地図
- 筆記用具(ペン・メモ帳)
- カッター・ハサミ
- 衣類・下着 タオル
- 靴下 毛布 ビニール袋

医療品等

- 持病薬 常備薬
- 救急セット

あなたの学びなおしを応援します！ 学びのステップアップアドバイザー

さまざまな理由により高等学校等を卒業していない方で、就職やキャリアアップのために高卒認定資格の必要性を感じている皆さんを、「学びのステップアップアドバイザー」が応援します。学びなおしのために必要な相談や支援が無料で受けられます。

「高卒認定試験って何？」「合格するにはどんな勉強が必要なの？」

まずはお気軽にご相談ください。

「高等学校卒業程度認定
試験（高卒認定試験）」とは

さまざまな理由で高等学校等を卒業していない人のために、「高等学校を卒業した人と同等以上の学力があるかどうか」を文部科学省が認定するための試験で、年2回実施されます。試験に合格すると、大学・短大・専門学校の受験資格が得られます。

また、就職や資格試験の受験にも活用できます。

第2回試験

11月4日(土)・5日(日)

受験会場：大分県教育センター
願書受付：7月18日(火)～9月8日(金)

※受験案内および願書は、大分県教育庁社会教育課（大分県庁舎別館8階）や大分県立図書館、大分市民図書館、各教育事務所などで配布しています。

学びのステップアップアドバイザー 利用者募集

ベテランの講師が
丁寧な進路相談・
学習支援を**無料**で
行います！



このような方がご相談できます

- 高等学校等を卒業していない方
 - 高卒認定試験に興味のある方
 - 高卒認定試験に向けた学習方法について相談したい方
- ※在学中でも高卒認定試験の受験を考えている方は対象です

こんなこと、ご相談ください

「私も高卒認定試験を受験できるの？」
「自分に合った学習方法がわからない…」など

こちらでご相談できます

問合せ **学びのステップアップアドバイザー**
(NPO 法人 地域の宝育成支援センター)

電話 **097-543-1711**
受付時間 9:00～17:00

相談・問い合わせフォーム



喜びの声も届いています
(利用者の声)

自分一人で勉強していたのでなかなか意欲がわかず、どうやって勉強すればよいか悩んでいたのですが、ステップアップアドバイザーのアドバイスを受けて、全国共通テストや大学受験を目標とすることができました。おかげで高卒認定試験にも合格し、これからは志望大学合格に向けて努力していきたいと思っています。

相談方法が選べます

対面、電話、オンライン、SNSなどで相談できます。

自転車に乗車の際は ヘルメットを着用しましょう

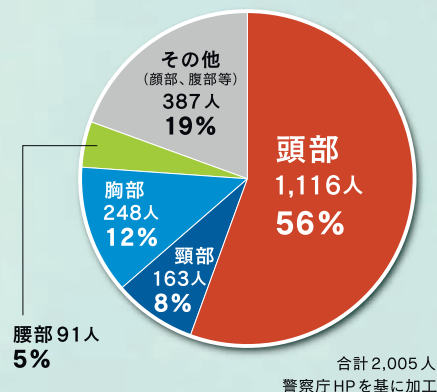
道路交通法の一部改正により、令和5年4月1日から
全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。
自分の身を守るためにヘルメットを着用しましょう。



自転車乗車中 死者の致命傷の部位

自転車乗車中に死亡した方の致命傷の部位は、頭部が5割を超えています。

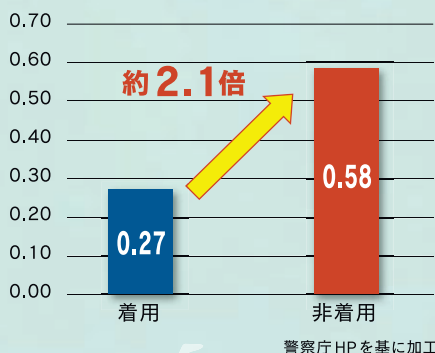
自転車乗車中死者の致命傷の部位
(人身損傷主部位別)
(平成30年～令和4年合計)



自転車乗車中のヘルメット 着用状況別の致死率

自転車乗車中のヘルメット非着用時の致死率(死傷者に占める死者の割合)は、着用時に比べて約2.1倍高くなっています。

自転車乗車中のヘルメット着用状況別の致死率(平成30年～令和4年合計)



自転車安全利用 五則

被害者・加害者にならないためにも、これらのルールを守って、安全運転を心がけましょう。

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外※、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

*令和4年11月1日中央交通安全対策会議
交通対策本部決定

※例外として歩道を通行できるのは

- ①「歩道通行可の標識(右図)」があるとき
- ②13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者、身体の不自由な方が運転するとき
- ③車道または交通の状況から歩道を通行することがやむを得ないと認められるとき



☎生活環境企画課 ☎097-506-3062 ☎警察本部交通企画課 ☎097-536-2131(代表)

..... Prefectural government Topics


マイナンバーカードが ますます便利に



マイナンバーカードは、県民の皆さんの7割が取得し、
8割が交付申請を済ませています。(令和5年3月末時点)

健康保険証として県内1,580の医療機関・薬局(令和5年4月9日時点)で利用できるほか、さまざまな場面で活用できます。
まだ取得されていない方はぜひ取得してください。

マイナンバーカードの利活用について

証明書のコンビニ交付	全国のコンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書などが取得できます。
行政手続のオンライン申請	引越の際の転出届・転入予約や、児童手当、保育所の利用、介護認定、パスポート申請、確定申告などさまざまな手続がスマホからオンラインで行えます。 詳しくはこちら 
運転免許証との一体化	令和6年度末に運転免許証とマイナンバーカードの一体化が予定されています。

マイナンバーカードは安全です!

なりすましはできません

顔写真入りのため、
対面での悪用は困難。



マイナンバーを見られても悪用は困難

マイナンバーを利用するには、顔写真付き身分証明書などでの本人確認があるため、悪用は困難。



プライバシー性の高い個人情報は入っていません

ICチップ部分には、税や年金などの個人情報は記録されません。

万全の
セキュリティ
対策

- 紛失・盗難の場合は、24時間365日体制で利用停止可能
- アプリごとに暗証番号を設定し、一定回数間違えると機能ブロック
- 不正に情報を読み出そうとすると、ICチップが壊れる仕組み

☎お問合せ マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178

平日:9時30分～20時00分/土日祝:9時30分～17時30分(年末年始除く)
紛失・盗難によるマイナンバーカードの一時利用停止については24時間365日受付

☎電子自治体推進室 ☎097-506-2080

新型コロナウイルス感染症 5類感染症への移行

5月8日から感染症法上の位置づけが5類感染症となり、これまでの取組にも変更がありましたので、ご理解・ご協力をお願いします。



継続しているもの

ワクチン接種

令和6年3月までは、これまでどおり自己負担はありません。
 <接種時期・対象者> ※1・2回目接種済みの方
 ①5～8月:高齢者、基礎疾患を有する方、医療従事者・介護従事者等
 ②9～12月:5歳以上の全員
 なお、1・2回目接種も引き続き実施しています。

ワクチン



相談窓口

どこの医療機関を受診すればよいかわからない方や、体調が悪化された方の相談に対しては、専用電話で対応します。
コロナ発熱・受診相談ダイヤル ☎097-573-3015(24時間対応)

医療機関



外来医療機関

9月までに段階的に拡大していきます。医療機関名は当面の間、県ホームページで公表していますので、発熱などの症状がある場合にご活用ください。

入院医療機関

9月までに段階的に拡大していきます。

医療費

9月までは、下記の医療費が公費支援の対象となります。
 ①コロナ治療薬
 ②入院医療費は、高額療養費の自己負担限度額から最大2万円を減額
 ※①②以外の医療費は、保険適用(自己負担)となります。



高齢者施設等

集中的検査、医療機関との連携、感染発生時の備え、施設内療養体制等の支援は、これまでどおりです。

ゲノム解析

変異株の発生動向の把握のため、引き続き、実施します。

終了したもの

コロナ患者/濃厚接触者

コロナ患者に対する入院勧告や、就業制限などの行動制限はありません。
 なお、自宅療養期間の目安は、発症後5日間とされています。
 また、濃厚接触者に対する自宅待機などの行動制限もありません。

患者支援

県が行っていた食料支援、パルスオキシメータの貸与、検査キット配布、保健所からの連絡、健康観察、自己検査陽性者登録、患者搬送は終了しました。また、宿泊療養施設、臨時的医療施設についても終了しました。

事業者向け

「安心はおいしいプラス」認証制度、イベントの開催制限等は終了しました。

無料検査場

終了しました。

感染者の公表

インフルエンザと同様に定点観測による週ごとの公表となりました。

マスク着用・感染対策について

マスクの着用は個人の判断に委ねられていることから、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、ご配慮をお願いします。

ただし、高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、下記の場面ではマスクの着用を推奨します。そのため、医療機関や高齢者施設等によってはマスクの着用をお願いします。場合によっては、ご理解・ご協力をお願いします。

また、換気や手洗いについても、感染対策として有効ですので、引き続きお願いします。

着用が効果的な場面

- ・医療機関を受診する時
- ・高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などへ訪問する時
- ・通勤ラッシュ時など、混雑した電車やバスに乗車する時



感染対策



特殊詐欺被害等防止機能付き 電話機の購入費用の一部を補助します

県では、市町村と連携して、増加する特殊詐欺などの被害防止のために、自動警告・自動録音機能の付いた電話機などの購入費用の3分の2(上限1万円)を補助しています。



【主な条件】

- 県内居住の65歳以上の者または65歳以上と同一の世帯に属する者
 - 1世帯につき、1回に限る など
- *各市町村で、対象の条件などをそれぞれ設定しています。電話機を購入する前にお住まいの市町村にお問い合わせください。

詳細は
こちらから



☎ 県民生活・男女共同参画課 ☎ 097-534-2038

募集 大分県職員(獣医師)の募集

県では、畜産や公衆衛生の分野で働く公務員獣医師を通年で募集しています。

選考項目は面接試験のみで、オンラインでの受験も可能となりました。獣医師のスキルを生かして「おんせん県おおいた」で一緒に働きませんか。

【区分A】

獣医師免許を有するまたは取得見込みの方
試験の時期 / 6月、8月、10月、12月

試験会場や、
申込方法など
詳細は
こちらから



【区分B】

獣医師免許を有する方
試験の時期 / 申込者と調整の上、
随時実施

☎ 人事課 ☎ 097-506-2305



大分県人権啓発
イメージキャラクターこころちゃん

県ホームページ
「こころちゃんのへや」は
こちらから



子ども目線でのサポートを

新年度のスタートから少し経ち、日々の生活も落ち着いてきた頃でしょうか。この春から新しい習い事を始めたという子どもたちも多いでしょう。

では、どんなきっかけで始めましたか？

子どもが興味を示すかどうかの目線はもちろんですが、大人目線の理由もあると思います。

「英語は将来絶対役に立つはず」「自分の身を守るためにも泳ぎは身につけさせなきゃ」

そして、子どもを奮起させようと、「なんでできなかったの?」「練習が足りないからでしょ?」「〇〇ちゃんに負けて悔しくないの?」などと詰問のような声かけをしてしまうこともあります。

そんな時は、自分に問いかけてみてください。

大人の「こうなってほしい」を押しつけていないだろうか? 子どもの好奇心や楽しむ気持ちに目を向けているだろうか?と。

子どもに自分の姿を重ね、自分の人生のやり直しを託してしまうようなこともあるかもしれません。

しかし、この先未知の時代を生きていくのは子ども自身です。

子どもが自分の気持ちに向き合いその時に応じた最善の選択ができるよう、周囲の大人は子どもの「やりたい!」をサポートする存在であってほしい。

サッカー少年の子どもをもつ自分への戒めも込めて、皆さんにお願いしたいと思います。

おおいたの芸術や
文化にふれよう

企画展

「おおいたの自然と人の物語」

7月7日(金)～
9月10日(日)



江戸時代の温泉の蒸気を利用した
地獄蒸しの様子
大分県指定文化財
「豊後国速見郡鶴見七湯の記」(当館蔵)

大分県は豊かな自然に恵まれ、そこに住む人々は太古の昔から姫島の黒曜石や温泉、動植物などを巧みに利用し生活してきました。江戸時代には、三浦梅園や広瀬淡窓など、身近なおおいたの自然に学び、自らの学問を探究する学者も生まれました。この展示では、自然と共に生き、時に対峙してきた人々の歴史を自然史資料、歴史資料両方の視点から探ります。

開館時間 / 9:00～17:00(入場は閉館の30分前まで)

休館日 / 月曜日(祝日の場合は翌日休)

観覧料 / (一般)310円、(高校・大学生)160円 ※中学生以下及び土曜日の高校生は無料

☎ 大分県立歴史博物館(宇佐市大字高森字京塚) ☎ 0978-37-2100



案内

スマートフォン自動通報機能 による119番誤通報に ご注意ください

iPhone14やGoogle Pixel(Android13)等のスマートフォンには、強い衝撃を検知すると、20秒以内にキャンセルしない限り、自動的に119番通報をする機能を備えたものがあります。

自動車事故発生時等に備えた機能ですが、スマホ落下時やスキー中の転倒等の衝撃による誤通報が発生しています。

不要な119番通報がされてしまった際には、電源を切らずに「間違えた」旨を必ずお伝えください。

限られた救急車を有効活用するためにもご協力をお願いします。

詳細は
こちらから



☎ 消防保安室 ☎097-506-3158

～がん患者の方へ～ ウィッグ等の購入費用の一部を 助成しています

県では、がん患者さんの治療と就労、社会参加等の両立を支援し、よりよい療養生活となるよう、「県がん患者社会参加応援事業」を実施しています。



対象時期／令和5年4月1日(土)～
令和6年3月31日(日)

助成対象／医療用ウィッグ(全頭用)、乳房補正具、
乳がん用バスタブカバー

*ウィッグは部分的なかつらを
除く

助成額／購入費の2分の1(上限2万円)
*千円未満切り捨て

申請期限／令和6年3月29日(金)まで
(購入日が令和6年3月中に限り、
令和6年4月30日(火)まで)

詳細は
こちらから



☎ 健康づくり支援課 ☎097-506-2676

病児保育が利用しやすくなりました

県内の病児保育の登録用紙を統一し、お住まいの地域に関係なく、同じ料金で病児・病後児保育室が利用できるようになりました。

また、病児保育ネット予約サービス「あずかるこちゃん」から、施設の連絡先や空き状況などがスマホ等でいつでも確認でき、一部施設では、そのまま予約も可能ですので、ぜひご利用ください。

あずかるこちゃんの
利用方法など詳細は
こちらから



☎ こども未来課 ☎097-506-2712

子育て・高齢者世帯リフォーム費用の 一部を補助します

県と市町村では、子育て世帯の住環境の向上や高齢者の暮らしの安全確保を図るため、県と市町村が共同で「子育て・高齢者世帯リフォーム支援事業」を実施しています。

18歳未満のお子さんがある世帯、
三世帯同居世帯、65歳以上の高齢者
がいる世帯が対象となります。

詳細は
こちらから



☎ 建築住宅課 ☎097-506-4677

狩猟免許試験のご案内

近年、鳥獣による農林作物被害が大きな問題となっています。その一方で、狩猟者の減少・高齢化により捕獲対策の促進に支障が出てきています。

狩猟に興味のある方は、この機会に
狩猟免許を取得してみませんか。

期 日／8月5日(土)、6日(日)

受付期間／7月1日(土)～25日(火)

試験会場／県振興局(東部・中部・南部・
豊肥・西部・北部)

詳細は
こちらから



☎ 森との共生推進室 ☎097-506-3876

「新時代おおいた」に 広告を掲載しませんか？

大分県広報紙「新時代おおいた」に広告を掲載する
広告主を募集しています。

掲載
4つの
メリット

- 1 発行部数 **483,000**部／回
- 2 県内全世帯へ配布
- 3 ホームページにも全ページ掲載
- 4 年6回発行
(イベントなどに合わせた掲載可能)



広告募集の
詳しい内容は
こちらから



広告スペース
H62×W170ミリ

☎ 広報広聴課 ☎097-506-2192 ✉ a10400@pref.oita.lg.jp

【5・6月号及び7・8月号特別企画】愛読者調査

広報紙「新時代おおいた」へのご意見募集～皆さまの声を聞かせてください～
今後の紙面づくりなどの参考にするため、読者の皆さまからご意見を募集します。



記載事項 (1)郵便番号・住所 (2)氏名 (3)年齢 (4)以下の設問への回答

Q1 新時代おおいたをどれくらいの頻度で読んでいますか。(いずれか1つ)

- ① 毎号読んでいる
- ② 時々読んでいる
- ③ 今回初めて読んだ

Q2 これから、新時代おおいたをどんな方法で読みたいですか。(複数回答可)

- ① 紙媒体(現行どおり)
- ② パソコンやスマートフォン
- ③ その他()
- ④ 特に読みたいと思わない

Q3 Q2で①紙媒体 と答えた方に伺います。新時代おおいたは現在の「各世帯への配布」以外の配布方法では、どのようなところに設置されていると良いと思いますか。(複数回答可)

- ① 県庁及び県の地方機関
- ② 市町村役場
- ③ 銀行・郵便局
- ④ その他()
- ⑤ 特になし(現行どおり)

Q4 新時代おおいたに関するご意見・ご感想 (200字程度)

回答方法 【インターネット】



回答はこちらから

【ハガキ】

〒870-8501 大分県庁広報広聴課
ご意見募集係 行き

締 切

8月31日(木) 当日消印有効

3・4月号のクイズの答えは、**A 交通** **B 九州** でした。たくさんのご応募をありがとうございました。

県政ガイド

テレビ
TOS「O!TAめじろオシ」
土曜日/午前11:40～11:44
OAB「お!」
日曜日/午後5:55～5:59
OBS「オオイタコレクション」
月曜日/午後6:55～6:59

ラジオ
OBS「くらしのたより」
月～金曜日/午前9:10～9:13
土曜日/午前6:50～6:53、日曜日/午前6:55～6:58

OBS「夕暮れだより」
月～金曜日/午後5:21～5:24

エフエム大分「WHAT's NEW OITA?」(ホワッツニューオーイタ)
月～金曜日/午前9:00～9:04
土曜日/午前9:25～9:29、日曜日/午前8:55～8:59



WEBサイト



大分の幅広い魅力を発信するWebマガジン
edit Oita



大分の人々が創る次世代型Webメディア
We are Oitan



宇宙ノオンセン県オオイタ



まず もっと
野菜、野菜
おおいた

県の「健康寿命日本一」を目指す取組として「まず野菜、もっと野菜」をテーマに、一日の「野菜摂取量350g」の目標実現に向けて、野菜を使った『簡単!おいしい!ヘルシー♪』なレシピを紹介しています。



カレーマヨサラダ



レシピ提供: 公益社団法人 大分県栄養士会

毎日の献立にお困りのそこのあなた!
今回ご紹介するサラダは、あと一品にぴったり。
マヨネーズとカレー粉を使用した味付けにより、塩分量をカット。
子どもも食べやすいメニューです♪

●材料(2人前)

キャベツ……………60g
もやし……………60g
きゅうり……………60g
しめじ……………30g
カニカマボコ……………10g
マヨネーズ……………大さじ1
カレー粉……………小さじ1/2
塩……………少々(0.4g)

●調理方法

- ①キャベツは短冊切り、きゅうりは縦半分になり、薄い斜め切り、しめじは石づきを切り落とし、小房に分ける
カニカマボコは適度な長さに切りほぐす
- ②しめじ、キャベツ、もやし、きゅうりの順に入れ、サッとゆでておく(レンジでも可)
- ③ゆでた野菜、カニカマボコ、マヨネーズ、カレー粉、塩を入れ、よく混ぜる

問 健康づくり支援課
☎097-506-2757



Instagramで
いろんなレシピを
公開中